

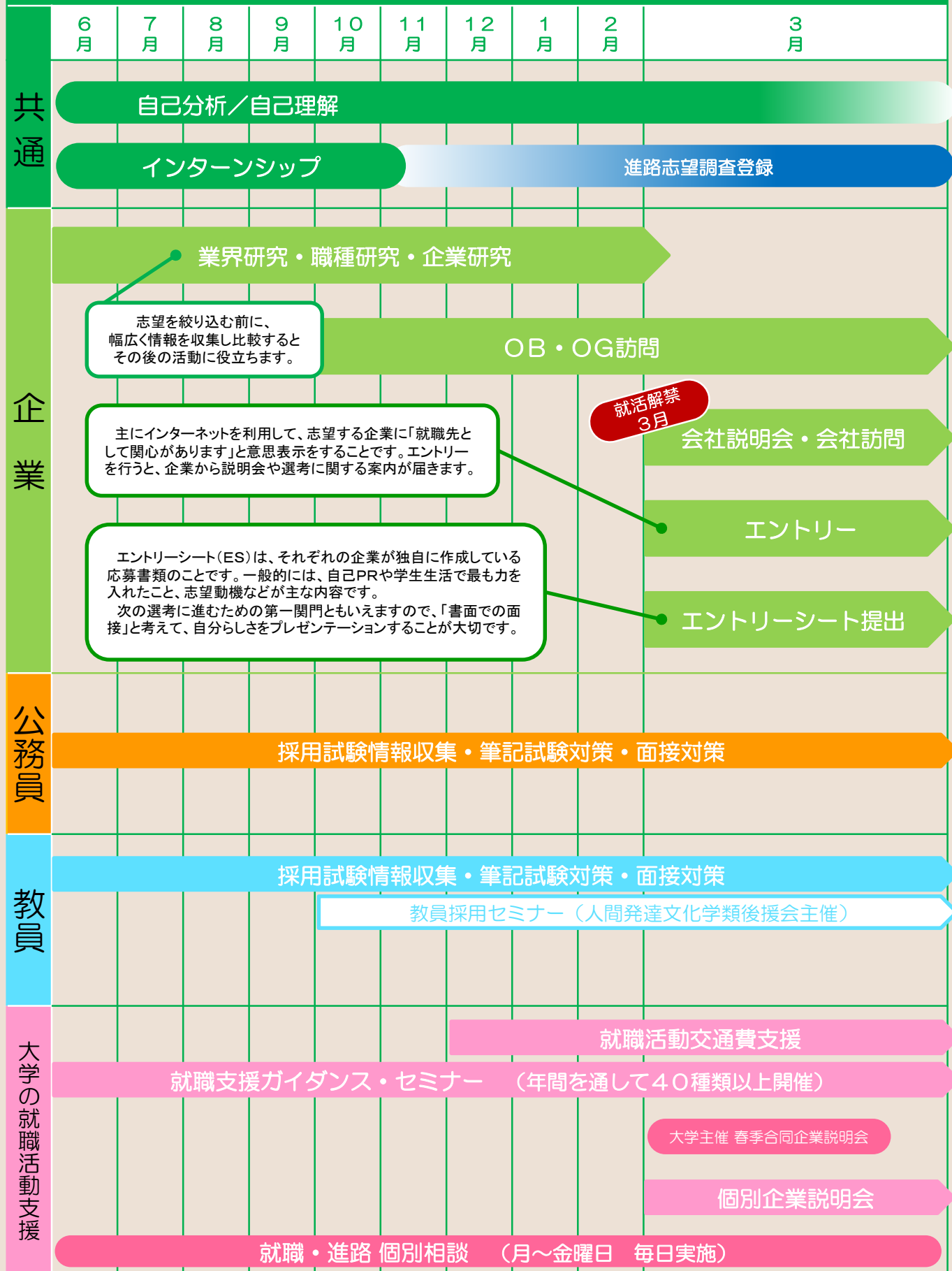
保護者のための
就職活動サポート
Guidebook



福島大学 キャリアセンター

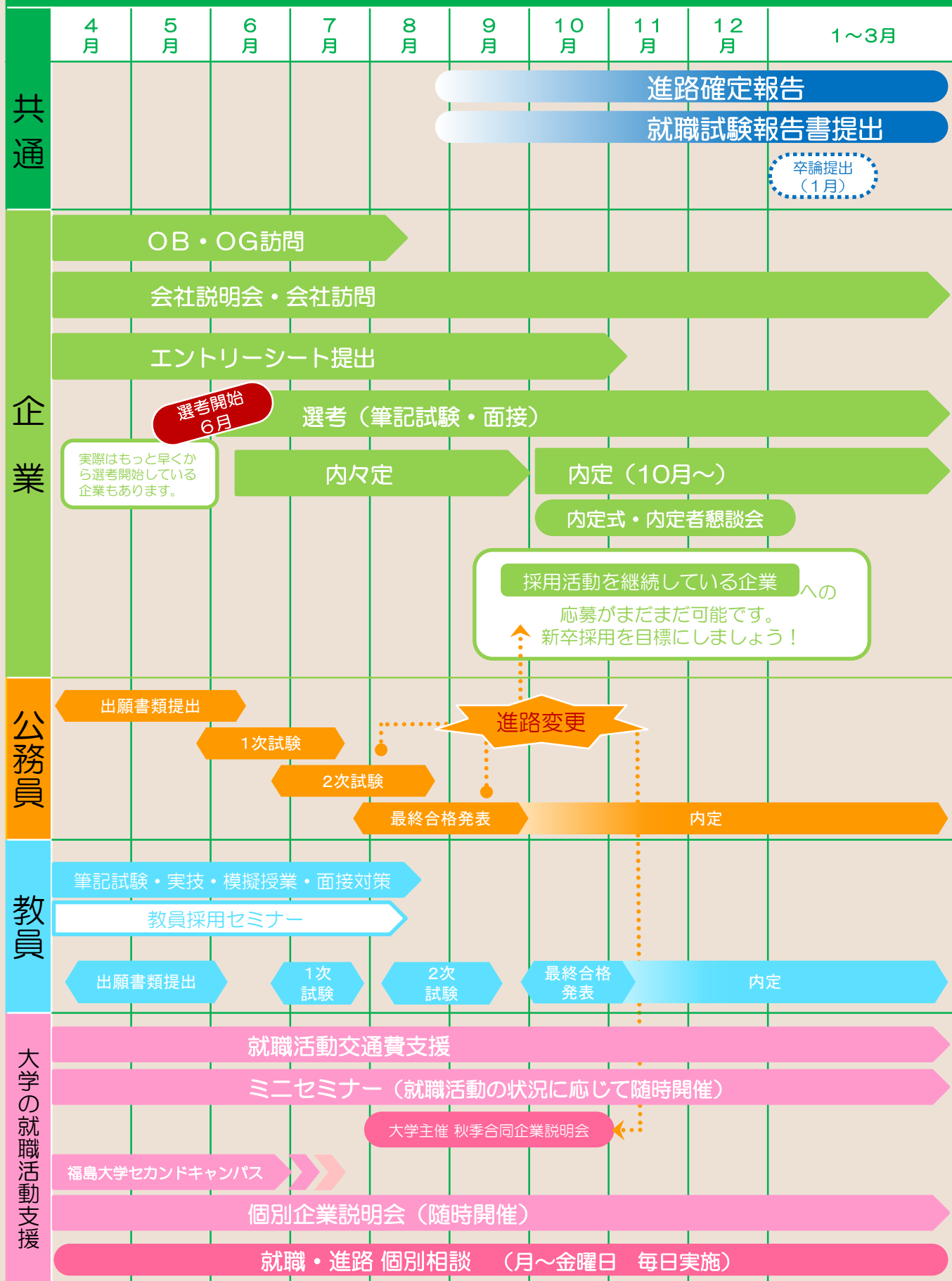
一般的な就職活動の流れ

◆ 3年生 ◆



- ◆保護者のみなさまが学生であった時と比べて、今の就職活動はスケジュールやプロセスが大きく変化しています。
- ◆就職活動の進め方は学生のみなさんの志望によってそれぞれ異なります。こちらに示したスケジュールはあくまでも参考例としてご覧ください。

◆ 4年生 ◆



進路が決まった学生のみなさんに聞きました

就職活動を終えた学生のみなさんから寄せられた声を掲載しています。

2018年度アンケートより

家族のサポートで 嬉しかったこと



アパートと実家、試験会場までの送迎をしてくれたこと。

好きなようにやりなさいと一任してくれたこと。

教員講座の費用負担をしてくれたこと。

帰省した際に私の好きな食事ばかりを作ってくれたこと。

時折母親から試験への応援メールが届き、嬉しく感じた。

うまくいかない時、「がんばっているのは分かるから、もしダメでも大丈夫、気にしなくていいよ」と言ってもらったこと。

心配はしていたようですが、基本的に口を出さなくてくれてよかった。

料理など、日々の生活のサポートがあったのがありがたかった。実家暮らしなので、勉強に集中することができました。

やはり資金の援助が何よりの助けとなった。また、時々連絡をくれたことも精神面で支えとなった。

相談した際は真面目に聞いてくれたこと。

私が進みたいと思った職業、地域について「あなたはどこへ行ってもちろんとやっていけるだろうから、どこにでも行きなさい」と言ってくれたのが最高のサポートだった。

就職先に詳しくあったので調べたり、パンフレットを持ってきてくれた。

両親が就職したときの話やアドバイスをしてくれたこと。

あまり口出しせず、全て任せてくれた。

一人暮らしの家に、ストックを持ってきてくれたり、食事を作ったりしてくれた。

親の世代と就活の時期、やり方が異なるが、それを分からずに「自分の時は…」という話が煩わしかった。今の就活の実態を表面的でも良いので分かって欲しい。

交通費がカツカツだったので、助けて欲しかった。

教員採用についてももっと知って欲しかった。

家族のサポートで 困ったこと がっかりしたこと

ミスした時に「そんなんじゃ〇〇になれないぞ」と言われたこと。

進もうと決めた業界、企業を非難したこと。助言に留めるべきだと思う。

就職先に対して悪口を言われたこと。

生活費をサポートして欲しかった。就活中はバイトができないので、苦しかった。

両親が就職した時代とは状況が変わっているので、自分たちを基準に簡単なことを言わないで欲しかった。

周りの人に進路状況を言うこと。

頻繁な「勉強どうなの？」や「就活どうなの？」という質問には参った。



就活を終えて、成長したと実感したこと



自分自身と向き合っただのような働き方をしたいか、しっかりと見つめ直すことができた。

自分から行動を起こすことに抵抗を感じなくなった。

自己管理（体調・スケジュール等）ができるようになった。

「職に就く」ことの難しさを改めて実感することができた。

以前は失敗などすると引きずってしまったが、前向きな気持ちを持つことを心がけていたら、何ごとにもあきらめずに取り組めるようになったこと。

面接を何度もこなすことで、自分がどういう人物なのかわかったこと。

両親が心配してくれたり合格してとても喜んだりしてくれたのを見て、改めて感謝の気持ちが湧いてきた。

活動中に様々な人に来て、社会の黒い部分や様々な仕事があることを知れた。落とされたことを含めて良い経験ができた。

どこからもなかなか内定がもらえない時、大丈夫、絶対受かると母に何度も励ましてもらい、頑張ることができました。本当にありがとう。

本当に自由に私のやりたいことをさせてもらいました。父母は一度も私を否定したことはありませんでした。今振り返ればそれが一番の支えでした。

応援、サポートありがとうございました。初任給楽しみにしてね。

これまで22年間育ててくれてありがとうございますと伝えたいです。その分精一杯恩返しをしたいと思います。

心から…感謝のメッセージ

いつも黙って見守ってくれて、最後まで信じてくれてありがとうございました。

今までろくに相談せず決めてしまったけど、好きなことをやれば良いと自由にしてくれて、見守ってくれて、応援してくれて、背中を押してくれて本当にありがとう。

就職活動～私の場合～

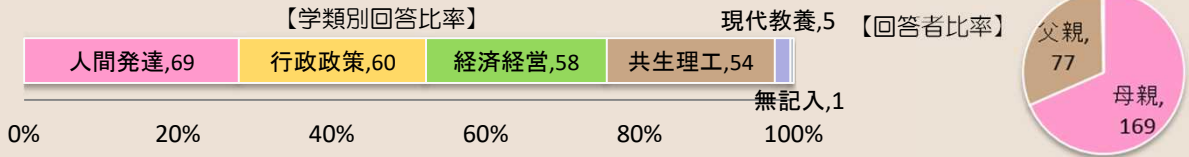
	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
主な就活地域／内定業界	関東／住宅	仙台・東京／人材	関東／商社	福島県内／金融	東北／運輸
エントリーした企業	130社	30社	60社	57社	100社
説明会に参加した企業	62社	10社	40社	31社	50社
採用試験を受けた企業	17社	6社	30社	12社	10社
就職活動にかかった費用	20万円	16万円	20万円	10万円	30万円

どのような業界・企業を志望するかによって、エントリーを行ったり実際に訪問する企業数はさまざまです。また、企業の所在地や選考会場、選考方法などにより、就職活動に必要な費用も大きく異なります。

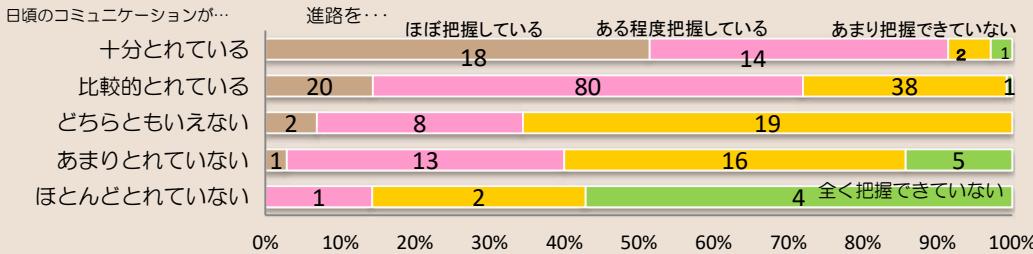
福大生の保護者はどう思っている???

アンケート結果より

平成28年度の「3年生の保護者全員へダイレクトメール」「保護者のための就職セミナー」にて保護者アンケートを実施し、総数247名の方から回答を得ることができました。アンケートへの回答内容から、お子様の就職に関する関心度は高く、また、多くの保護者の方が、各家庭の状況に応じて、なんらかの形でお子様の就職活動の手助けをしたいと考えていることが分かりました。❖前回調査とあるのは平成26年度に行った同様のアンケートを指します。❖

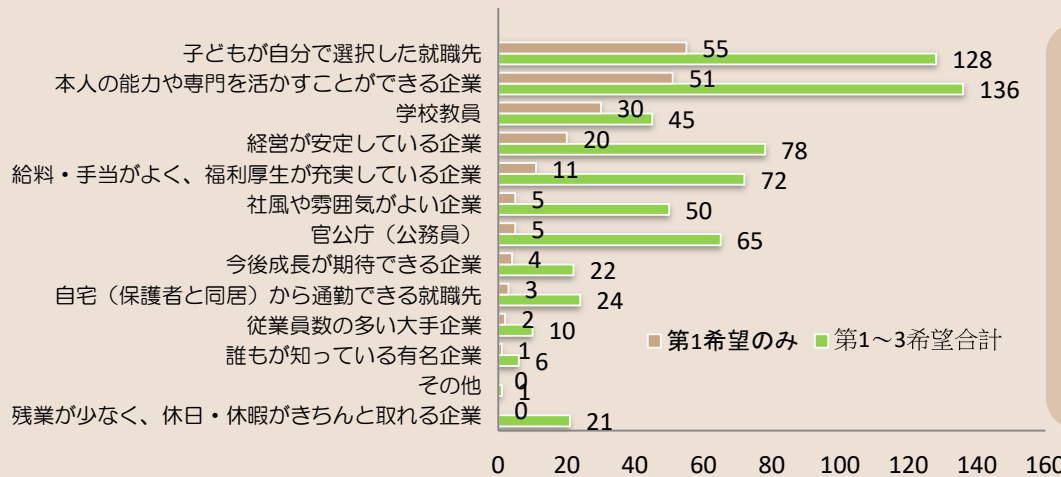


Q1 日頃、お子様と家族のコミュニケーションはどの程度とれていて感じていますか。【○をつける】
また就職・進路についてどのくらい把握できていると感じていますか。



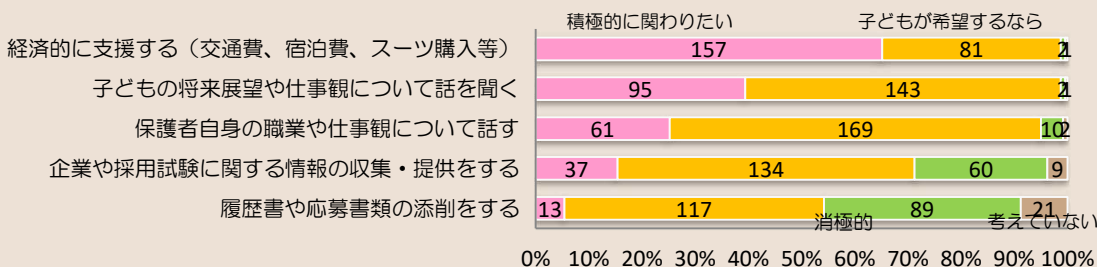
日頃のコミュニケーションが比較的とれている保護者でも、お子様の就職・進路の希望について完全には把握されていないようです。進路のことをより積極的に話題にし、コミュニケーションのきっかけにしてはいかがでしょうか。

Q2 お子様の就職先について、保護者としての希望をおきかせください。【3位まで順番をつける】



前回調査で第1希望のみの集計で5位だった「本人の能力専門を活かすことができる企業」が2位となり、第3希望までの合計では第1位となりました。また、前回調査で第一希望のみと第3希望までの合計の両方で1位だった「官公庁（公務員）」が順位を下げるなど、保護者の希望にも変化がありました。

Q3 お子様の就職活動に対して、保護者としてどのように関わり応援したいと考えていますか。【○をつける】



経済的支援はもとより、それ以外の内容についても「子どもが希望するなら」と答える保護者が多く、全体の傾向は前回調査とほとんど変わっていません。

保護者の方から寄せられたメッセージ ***お子さんへのエール***

■ 本人の意志を尊重し、見守る方向で考えているが、本人の意志が不鮮明なため、何をしたらよいか分からない状態です。離れて暮らしているため、なかなか詳しく話ができず、心配しています。

■ 親も子供任せではなく今の就活について知識を持たなければいけないと思いました。子供に対して過保護・過干渉にならないように気をつけて、必要ならアドバイスをしたり応援したりしていこうと思います。

■ 就職に関する情報提供や懇談会などの企画があり、大学側の支援体制が整っていることが分かります。親世代の就職への取り組みとのギャップも感じながら現代の学生の大変さを思っています。

■ なりたい自分をイメージして周りに流されず、あなたならやり遂げるよ！自分を信じて！つらい時は愚痴を聞かよ。

■ これから先の人生に、とても大きく左右する大切な事。できるだけ調べて、自分の希望するものは何かをよく考えて決めて欲しい。自分をふり返りもっと真剣に考え積極的に動けばよかったと後悔…

■ 学業、バイト、一人暮らし、その全てがあなたを成長させています。毎日を一生懸命に。

■ 自分の思いや考えに責任を持って行動して欲しい。前向きに考え、長いスパンをふまえての就職を考えながら進んで欲しい。相談はいつでも待っています。

■ 親も就職経験者です。アドバイス、応援しますので子供達も親に報告、相談して欲しいと思います。

お子さんの 就活サポーターとして

今どきの就職活動事情をご理解いただき、
お子さまのよき相談相手として
温かく見守ってください。

うちの子、就職大丈夫？

現在の学生の就職環境は、保護者のみなさまが就職活動をされたころの状況とは大きく様変わりし、スケジュールや選考方法がとても複雑になっています。そのため、多くの保護者の方がお子さんの就職活動に関心を寄せており、また、不安を感じていらっしゃる方も少なくありません。保護者の方からの問い合わせや相談も増えてきています。

どう接したらいいのか？

就職活動を控えたお子さんや、まさに就職活動中であるお子さんの様子を見て、どのような手助けをしたらよいか、保護者のみなさまも判断に迷うことがあるかもしれません。まずは、就職活動に関する正しい知識をお持ちになり、今の状況を理解した上でお子さまと向き合っていただければと思います。

日頃からのコミュニケーション

就職活動もピークを迎えると、家族にも友達にも話せないようなことが出てくることもあります。普段からコミュニケーションを取り、いざというときにスムーズに会話ができる関係でいることが大切です。実際に相談はしなくても、相談できる人が身近にいるということだけでも大きな安心感につながります。

親だからこそできる支援

就職活動は、誰にとっても初めての経験ばかりで不安でいっぱいです。社会人の先輩として、また、成長を見守ってきた親だからこそわかる個性を踏まえたうえでのサポートは、お子さんにとってとても心強いものです。ぜひ、お子さんのお話をじっくりお聞きになり、本人の希望や意思を受け止めるとともに、見落としている新たな視点に気づかせるなどしながら応援していただければと思います。

成長を見守って

就職活動は、自分自身で考え、決断し、行動するという経験の繰り返しです。就職活動を通して、将来について迷い、悩みながら、自分を見つめ直し、大きく成長します。頼もしい大人へと変わっていく様子を温かく、そして時には厳しい目で見守っていただきたいと思います。

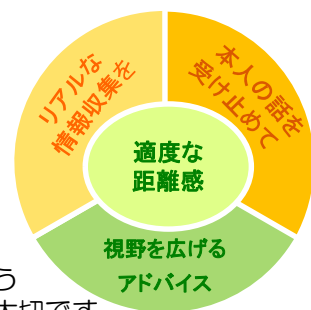
お子さんとの会話の中で

心配するあまり、悩んでいるお子さんに対して
次のような言葉が浮かんでくることはありませんか？

- ◆「そんな会社聞いたことないよ」 お子さんの意思を否定していないでしょうか
- ◆「就職は地元」 親の希望を押しつけていないでしょうか
- ◆「〇〇さんは就職決まったって」 他人と比較され自信をなくすことも
- ◆「説明会と一緒にいこうかしら」 過保護すぎではありませんか
- ◆「まったく興味がない」 無関心すぎではありませんか

応援したい気持ちから出た何気ない一言であっても、さらに悩んだり困ってしまう場合もあります。お互いに誤解のないようコミュニケーションを重ねていくことが大切です。

応援する際の ポイント



【編集・発行】 福島大学キャリアセンター

〒960-1296 福島市金谷川1番地

tel : 024-548-8108

fax : 024-548-8355

mail : shushoku@adb.fukushima-u.ac.jp

ホームページ : <http://syushoku.adb.fukushima-u.ac.jp/>

本学のキャリア教育、支援、
就職支援に関する
お問い合わせは
こちらまでどうぞ